



横浜市立本町小学校 学校運営協議会【記録】

本町小学校学校運営協議会だより

令和6年度 横浜市立本町小学校 第2回学校運営協議会 が開催されました

日 時:令和6年9月13日(金) 12:40~14:40

1 開会挨拶

2 120周年事業について学校より説明

3 授業参観

4 協 議

(1)本町小の取組について説明

(2)協 議

委員の皆様より(委員名略)

・子どもたちは、とても難しい内容について真剣に話をしていた。6年生の話は、懐かしく感じた。4年生は、アイデアを出してお互いに質問したり答えたりして感心した。自分が子どものころは先生に言われた通りに聞いているだけだった気がする。自分自身も勉強になった。これからも教えていただきたい。

・子どもたちはそれぞれ、いろいろな考えを持って取り組んでいる姿が見られた。通り一遍の考えではなく、話し合いをされていてよかった。多くが手を挙げていた一方で、「自分に関係ない」という顔をしている子もいた。そういった子をどう関わらせていけるか大変だと感じた。6年生のお祝いのお祝いの映像は、その後どのように活用するのか関心がある。

・子どもたちが色々な考え方をもち、それをみんなの前で発表できることが素晴らしい。本町の子は、人に見られるってことに関しては、恐れておらず慣れている。強みだと思う。当たり前のことを今やっているのかもしれないが、本町の外に出たときに実は特別なことでみんなが体験できないことをしていたんだと後から気付くと思う。

・地域や外部講師の方々など本町のすごさを語ってくれる人がいて、それをしっかりと子どもたちが受け止めていた。感受性の豊かさを感じた。積極的に挙手をしている子がいる一方で、何も話さない子もいる。そういう話さない子をどうするか、違う表現の仕方たとえば書いて見せるという方法もあるとよい時間になると思う。もちろん、積極的に発言できる力があるといい。



・8年間の積み重ねがあると感じた。4年生は、去年3年生の時に大道芸で、うちの学校とご一緒した。外に見せるとか、自分たちが人を楽しませることが認められてきている実感が活動の中で積み重なってきている。6年生は外からは見えないが、外国籍を含め多様な背景の子どもがいると思われるが、みんなで作り上げていく創造の力が本当に素晴らしく積み重なっていると感じた。さらに社会、まち、人に対してといった相手意識が出てくるとすごい力になると感じた。

・8年前に生活・総合を重点研究として始めた。みなとみらい本町小ができる前の年だったので、そのことに関わってほしい、主体的に自分たちで調べてほしいといった当時の思いが、今でも続いているというのにはありがたいと思う。今日授業された先生は、8年目となって積み重ねてきたものがあるので、子どもたちが主体的に関わっていると感じられてよかった。120周年の今年子どもたちが主体的に、その120年の素敵なもの、そしてまさに6年生として、その120年を経験できている喜びみたいなものを形として動画に表したいという思いがうまくできるといいと思っている。先ほど、委員から話があったが、この子たちはもっと地域に出て行って、今度は自分たちが調べ最終的には地域の方にも120周年への6年生の思いを発信できるといいと思った。

・現在各クラスに外国につながる子が2割いる状況で53人の子は日本語がまだ追いつかないとのこと。1番は楽しく学校に来られるようにすることだと思う。国際の時間を担任と確認しながら決めて、普段子どもが生活している学級を基盤にするという考えはすごい。また、発達障害支援など1対1の対応をすれば落ち着くんだらうなという子がいるが、何も情報がないと困り感が分かりづらい。学校運営協議会の委員の方にはそうした個人情報伝えてもよいのではないかと。特に地域の方にはそうした子たちが休日に町でどう過ごしているのか関心をもってもらうためにも、知っておいてもらうとよいと思う。学校運営協議会は地域ベースの会議なので、今の学校の1番の課題は、個人情報だから出せない、あるいは出さないから周りの人の理解が進まないことだと思っている。先生たちだけがすごく苦労している。個人情報の壁を低くして、学校だけがもっている情報をもとに地域でもその子達を支えられるようにするのが、今の社会全体の課題である。教育は大変だけど、だから救われている子どもがいっぱいいると感じた。

(3) 今後の予定について

・第3回学校運営協議会;全職員が参加してグループ討議

～貴重なご意見を、ありがとうございました～

